

7. 建設業

受注高・工事施工高の状況

―業況DI、受注DIともプラス台を維持―

業況DIは+14.1と前期に比べ8.6ポイント好転、受注高DIは+10.9と前期と比べ10.1ポイント好転した。

工事施工高DIは+11.0と前期と比べ7.9ポイント好転した。

施工高を受注先別で見ると、中小企業型で好転、官公庁型で改善、個人型で後退、大企業型で悪化している。

また職種別で見ると、総合工事で好転、設備工事、職別工事において改善となっている。

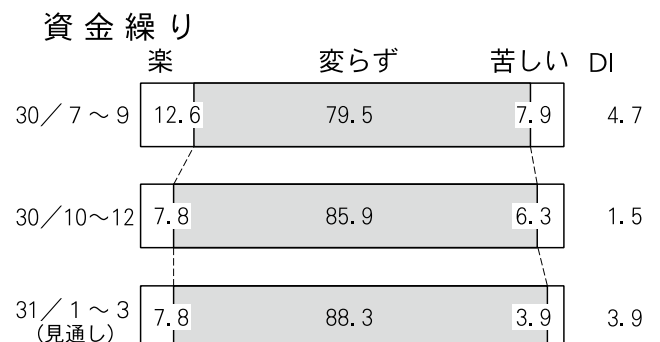
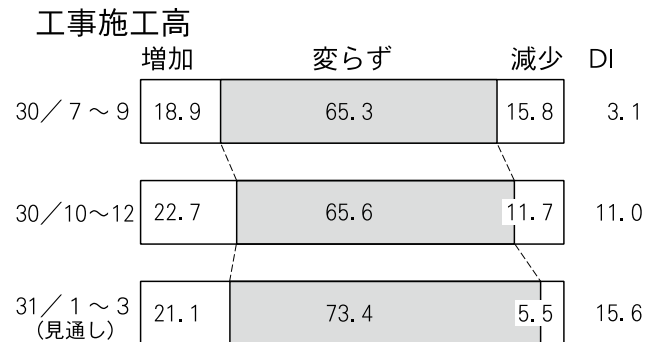
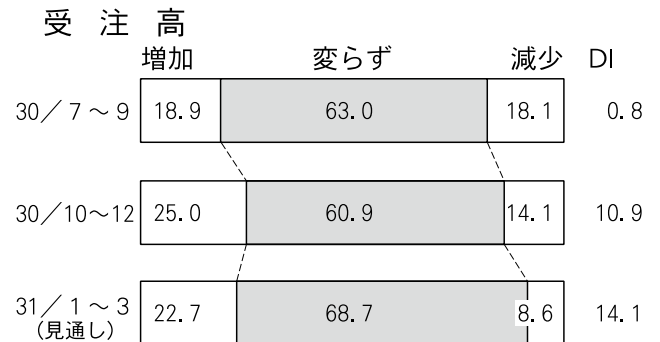
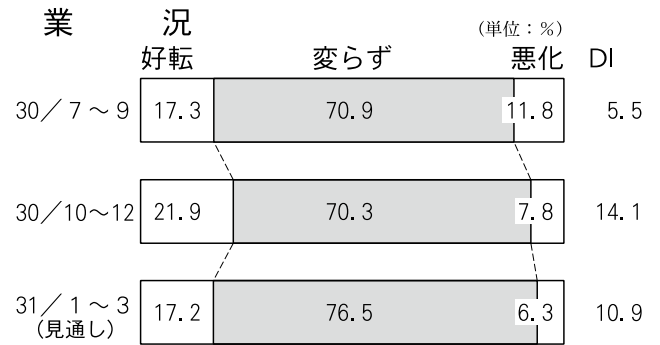
資金繰りDIは+1.5と前期と比べ3.2ポイント後退している。

経営上の問題点は、「人手不足」51.6%、「競争の激化」35.2%、「受注・施工高の停滞・減少」が31.3%の順になっている。

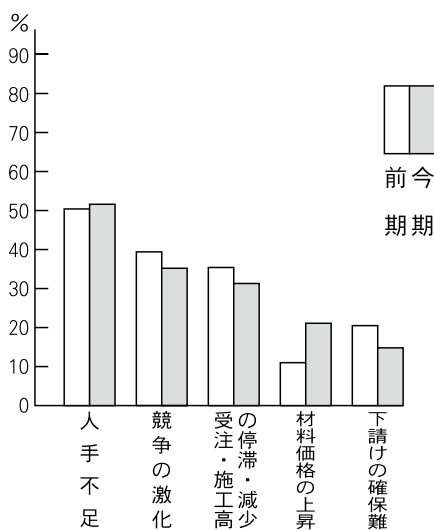
来期の業況DIは+10.9と今期と比べ3.2ポイントの後退、受注高DIは+14.1と今期と比べ3.2ポイントの好転を予測している。

〈参考〉職種別業種明細

- ・ 総合工事業…一般土木建築・土木・舗装・しゅんせつ工事業
・ 木造建築工事業
- ・ 職別工事業…大工・とび・コンクリート・鉄骨鉄筋・塗装工事業
石工・レンガ・タイル・ブロック・屋根・板金・金物工事業
- ・ 設備工事業…電気工事・電気通信・信号装置・管工事業・さく井工事業
その他の設備工事業



経営上の問題点



収益の状況

－プラス台に改善－

今期の収益D Iは+2.4と前期と比べ8.0ポイント改善しプラス台になった。

来期の収益D Iは+6.2と、今期と比べ3.8ポイントの好転を予測している。

設備投資の動向

今期の実施率は6.3%と、前期の6.3%と同水準となった。

来期の実施予定は3.9%と今期と比べ2.4ポイントの減少を予測している。

業界の新しい動き・課題・見通し等…
ご意見

- ・ 人材不足が深刻。 (土木工事業)
- ・ 愛知県方面での工事は活発である。 (総合工事業)

収益 (単位: %)

	増加	変わらず	減少	DI
30/7~9	10.2	74.0	15.8	△ 5.6
30/10~12	14.1	74.2	11.7	2.4
31/1~3 (見通し)	11.7	82.8	5.5	6.2

請負単価

	上昇	変わらず	下降	DI
30/7~9	9.4	81.2	9.4	0.0
30/10~12	7.8	83.6	8.6	△ 0.8
31/1~3 (見通し)	7.0	86.0	7.0	0.0

材料単価

	上昇	変わらず	下降	DI
30/7~9	15.7	82.7	1.6	14.1
30/10~12	21.9	75.8	2.3	19.6
31/1~3 (見通し)	21.9	78.1	0.0	21.9

設備投資動向

〔今期の実績〕

30/10~12月実績

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○実施した 6.3%	事業用土地	12.5
	事業用建物	37.5
	機械の新・増設	37.5
	更 改	25.0
○実施しない 93.7%		

(注) 比率は複数回答です。

〔来期の見通し〕

31/1~3月期予想

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○計画あり 3.9%	事業用土地	20.0
	事業用建物	40.0
	機械の新・増設	40.0
	更 改	20.0
○計画なし 96.1%		

(注) 比率は複数回答です。